

- このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
- 施工の前にこの説明書と住宅用分電盤に付属の説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。
- 施工完了後は、この説明書をご使用者様へお渡しください。

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの説明書とその他の付属書類をすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて熟知してからご使用ください。この説明書では、安全注意事項のランクを「警告」「注意」として区分してあります。

警告 取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を招く可能性が想定される場合。
注意 取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、傷害を招く可能性が想定される場合及び物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、**注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

警告

- 施工・点検時には上位遮断器を切「O」にし、電気がきていないことを確認してから行ってください。感電のおそれがあります。

注意

- テンパール工業製住宅用分電盤パールテクト専用品です。テンパール工業製の他の分電盤、他社製分電盤には取り付けできません。無理に取り付けた場合、火災のおそれがあります。
- プラグイン端子はパーへ確実に差し込んでください。差し込みが不十分な場合、火災のおそれがあります。

施工上のご注意

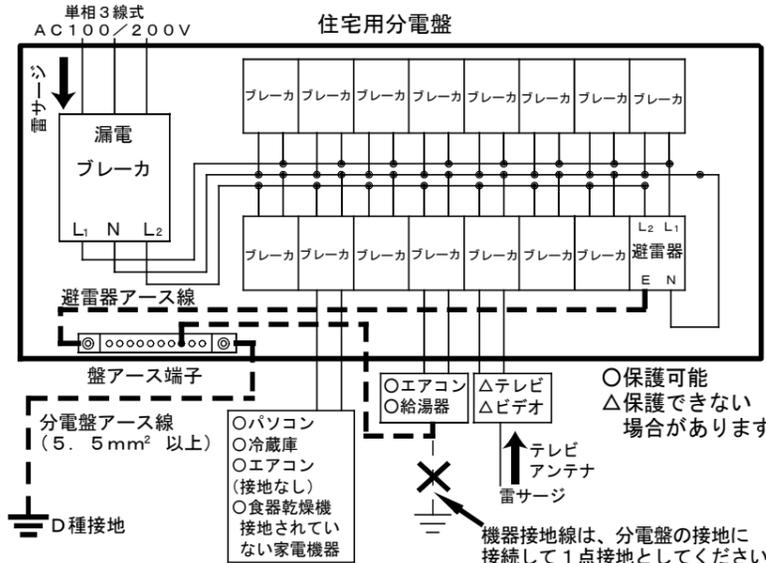
注意

- 直接風雨にさらされるところ、蒸気のでるところ、高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動衝撃など異常な環境に設置しないでください。感電、火災、不動作のおそれがあります。
- 粉塵や塩分の多いところ、酸・アルカリ・腐食性ガスなどの有害な雰囲気のある場所、溶剤・切削油・潤滑油などが付着した状態では設置しないでください。
- 電気工事は、有資格者（電気工事士）が行ってください。
- ゴミ、コンクリート粉、鉄粉の異物および雨水などが本製品内部に入らないように施工してください。感電、火災、不動作のおそれがあります。
- 直射日光の当たるところや発熱体近傍など、使用温度範囲（-20℃～+50℃）を超える場所では使用しないでください。
- 外装樹脂に亀裂が入るような強い振動、衝撃（落下など）や圧力などを加えないでください。

特長

屋外から引き込まれている低圧電源線から、侵入する雷サージに対して有効です。テレビアンテナから侵入する雷サージに対しては、保護できない場合があります。また、直撃雷（近傍雷を含む）に対しては、保護できません。

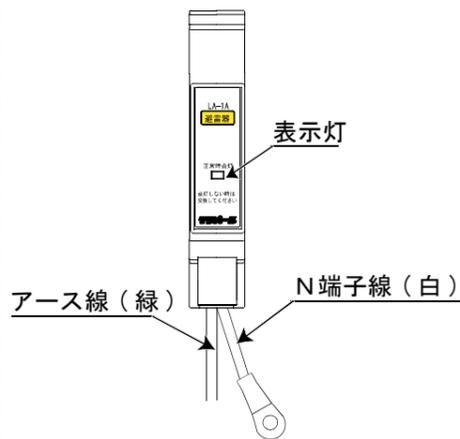
配線用参考図（接続例）



避雷器の仕様

適用回路	1φ3W AC110/220V
公称放電電流	5kA (8/20μs)
最大放電電流	10kA (8/20μs)
電圧防護レベル	線間：800V以下 対地間：1500V以下

各部の名称

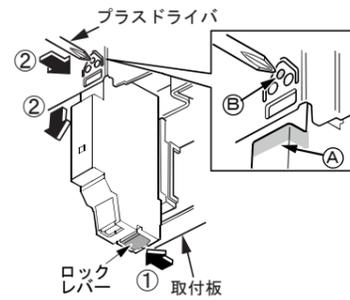


■避雷器の取り外し・取り付け

注意

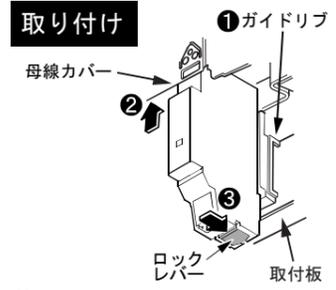
- 必ず主幹ブレーカを切ってください。感電のおそれがあります。
- 母線カバーは取り外すことができません。無理に取り外そうとすると、感電のおそれがあります。

取り外し



- ①ロックレバーを上げます。
- ②指を(A)部にかへ、避雷器を引きながら、プラスドライバで(B)部を押し、避雷器を取り外す。
※プラスドライバは、2番または3番を使用してください。
※避雷器の脱落に注意してください。

取り付け



- ①避雷器をガイドリブの間に置きます。
- ②避雷器をガイドリブに沿って奥まで差し込みます。
- ③ロックレバーを下ろします。

■配線方法

注意

- 避雷針の接地と共用はしないでください。
- 被保護機器は、分電盤の盤アース端子より配線されたアース線に接続し、避雷器と接続1点接地としてください。被保護機器と避雷器が接続1点接地されていない場合、被保護機器を保護できません。また被保護機器が破損するおそれがあります。
- 避雷器のN端子には、必ず単相3線のN相を接続してください。破損の原因になります。
- 住宅用分電盤の盤アース端子は、5.5mm²以上の太さの電線で接地してください。盤アース端子の接地はD種接地で抵抗値を極力低くしてください（100Ω以下）。また、アース線は最短距離で接続してください。

取扱説明書（保管用）

- ご使用前にこの説明書と住宅用分電盤に付属の説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- この説明書は必ず保管してください。

※裏面の「安全上のご注意」も併せてお読みください。

■使用上のご注意

- 直撃雷、アンテナ線、通信線等の信号から侵入する雷サージの保護はできません。また、誘導雷サージでも連続して多数回侵入した場合、避雷器の性能劣化の進行や短絡または破損のおそれがあります。
- 定期的に避雷器の表示灯が点灯していることを確認してください。（停電時は点灯しません）

■保守・点検のご注意

注意

- 保守・点検は、専門知識を有する人が行ってください。
- ・DC500V以下の絶縁抵抗試験（対地間）は、避雷器を接続したままで実施することができます。
- ・耐圧試験を実施する場合は、避雷器の接続を外して実施してください。

■故障かな？と思ったとき

修理を依頼される前に、もう一度次の点をお調べください。

現象	原因	処置
表示灯が消灯している。	◆保護機能がなくなっています。	・電気工事店様にお問い合わせください。

施工電気工事者名

TEL ()
施工年月日 年 月 日

商品および説明書の内容についてご不明な点がございましたら、弊社技術問い合わせ窓口までお問い合わせください。

広島市南区大州3-1-42

テンパール工業株式会社
https://www.tempearl.co.jp/

技術問い合わせ窓口
TEL (082) 287-9110 FAX (082) 283-4534
受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00 (弊社営業日)